



令和8年1月

高浜町立高浜中学校

Takahama Junior High School



前進、開運の年に



あけましておめでとうございます。新しい年の始まりは、心を新たにする良い節目です。今年の干支である「午年」は、前進と開運の年といわれています。

目標に向かって着実に歩みを進め、新たな運を切り開いていきましょう。今年も、生徒一人ひとりの成長を大切にしながら、教職員一同、共に歩んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

歳末助け合い募金



昨年度の能登支援募金に続き、今年も学校玄関やサニーマート店舗前で歳末助け合い募金を行いました。街頭募金の日は、あいにく雨が降る肌寒い天候でしたが、足を止めて生徒に励ましの声をかけ、善意を届けてくださった地域の皆さんに、温かな気持ちをたくさんいただきました。皆さんから寄せられた募金は、社会福祉協議会を通じて地域社会のために役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

人権について「自分事」として考える

人権週間にちなみ、人権について考える講演会を実施しました。講師は、公益財団法人とよなか国際交流協会で活動されている三木幸美さんです。三木さんは、日本人の父と外国人の母の間に

生まれ、大阪の被差別部落で育ちました。その後8歳になるまで戸籍も国籍もなく、病気や事故に遭っても医療機関にかかることが難しかったことなど、自らの過酷な生い立ちについて語られました。母と一緒に交通事故に遭った際に謝り続ける母の姿、日本語が話せない母を軽蔑した思春期時代の後悔など、三木さんの熱のこもった語りに、生徒たちは次第に引き込まれ、真剣に聞き入っていました。



現在、少子化の加速とともに、20代人口の1割近くを外国人が占めるようになりました。日本で暮らす外国人には、「言葉」「法・制度」「心」という大きな障壁があります。普段、私たちが「当たり前」「正しい」「些細」と思っている言動の中にも、先入観や偏見が潜んでおり、その積み重ねが心理的なダメージを与える現状(マイクロアグレッション)があります。講演では、当事者の声に耳を傾け、自分自身の先入観や偏見、そして差別の現実を知ることの大切さを学びました。また、自分にもできる小さな行動を積み重ねることで社会をよりよくしていくことを考えました。

この講演会のほか、学年の人権集会や人権作文発表会などを行い、人権について考える機会を持ちました。生徒たちは、日頃の自分の言動を振り返ったり、家族に重ねて考えたりするなど、自分の生き方や多様性社会のあり方について深く考える有意義な時間となったようです。

休日地域クラブ活動について



今月、学校部活動を休日に地域で行う「休日地域クラブ活動」について、これまでの意向調査をもとに、実施に向けた具体的な協議を行う懇談会を開きます。

活動にあたっては、地域指導者、保護者、町教育委員会が役割を分担し、連携を密にしながら進めていきます。休日の活動は、地域クラブ活動に限らず、さまざまな社会教育活動から選択できます。

しかし、今後は少子化や指導者不足なども予想されるため、持続可能な活動とすることが重要です。このため、町教育委員会、指導者組織、学校、PTA、地域スポーツ組織などの代表者による「スポーツの地域展開検討委員会」が発足しました。引き続き、生徒の豊かな成長のため、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<主な役割>

地域指導者…生徒の育成指導
保護者組織…生徒の見守り、送迎
教育委員会…施設管理など諸支援・助成

<今後の予定>

1月 第2回部活動別の懇談会
第2回スポーツの地域展開検討委員会
2~3月 休日地域クラブ活動試行開始

12月の学習＆冬季休業中の活動より



2学期の最後に3年生による探究学習のまとめとなる発表会を行いました。この後、1年生、2年生による発表も予定しており、改めてご案内いたします。ご都合がつく方は、ぜひ気軽にお越しください。皆さまのご参加をお待ちしています。